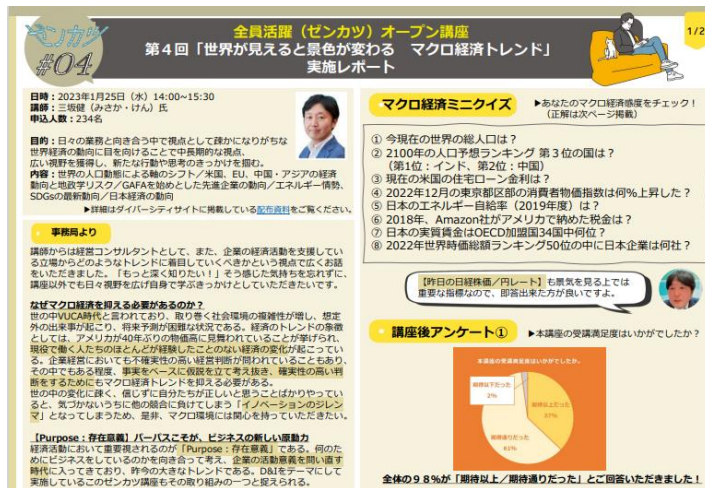


## 従業員エンゲージメント向上に関する取組

### CASE : 全員活躍（ゼンカツ）オープン講座

「ダイバーシティ&インクルージョン」の風土醸成の一環として、社員一人ひとりが自身のワークライフバランスに向き合い、自らの強みと能力を最大限発揮する“全員活躍”のきっかけとすることを目的に、2022年度より実施しています。2022年度は全4回の講座にのべ800人の参加がありました。参加者の事後アンケートの内容でも好評であったことから、2023年度も引き続き継続実施しています。



**全員活躍（ゼンカツ）オープン講座**  
第4回「世界が見えると景色が変わる マクロ経済トレンド」実施レポート

日時：2023年1月25日（水）14:00-15:30  
講師：三坂 雅（みさか・みや）氏  
申込人数：234名

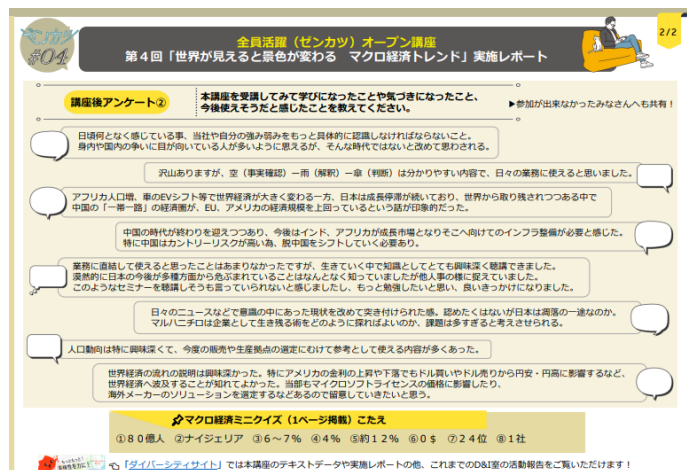
**マクロ経済ミニクイズ** ▶あなたのマクロ経済感をチェック！  
（正解は次ページ掲載）

- ① 今現在の世界の総人口は？
- ② 2100年の人口予想ランキング 第3位の国は？  
（第1位：インド、第2位：中国）
- ③ 現在の米国の住宅ローン金利は？
- ④ 2022年12月の東京都都区部の消費者物価指数は何%上昇した？
- ⑤ 日本のエネルギー自給率（2019年度）は？
- ⑥ 2018年、Amazon社がアメリカで納めた税金は？
- ⑦ 日本の実質賃金はOECD加盟国34国中何位？
- ⑧ 2022年世界時価総額ランキング50位の中に日本企業は何社？

【昨日の日経株価/円レート】も景気を見る上では重要な指標なので、即座出来た方が良いでしょう。

**講座後アンケート①** ▶本講座の受講満足度はいかがでしたか？

全体の98%が「期待以上/期待通りだった」とご回答いただきました！



**全員活躍（ゼンカツ）オープン講座**  
第4回「世界が見えると景色が変わる マクロ経済トレンド」実施レポート

**講座後アンケート②** ▶本講座を受講してみて学びになったことや気づきになったこと、今後使えそうだと感じたことを教えてください。

日頃何となく感じている事、当社や自分の強み弱みをもっと具体的に認識しなければならぬこと、身内や国内の争いに目を向けている人が多いうちに思えるが、そんな時代ではないと改めて思われる。

武山ありますが、空（事実確認）一雨（解釈）一章（判断）は分かりやすい内容で、日々の業務に使えると思いました。

アフリカ人口増、車のEVシフト等で世界経済が大きく変わる一方、日本は成長停滞が続いており、世界から取り残れつつある中で中国の「一帯一路」の経済圏が、EU、アメリカの経済圏を上回っているという話印象的だった。

中国の時代が終わりを迎えつつあり、今後はインド、アフリカが成長市場となりそこへ向けてのインフラ整備が必要と感じ、特に中国はカントリーリスクが高い為、股中国をシフトしていく必要あり。

業務に直結して使えそうと思ったことはあまりなかったですが、生きていく中で知識としてとても興味深く聴くことができました。突然的に日本の今後が多岐方向から色あせていることはなんとなく知っていましたが他人事の様に変えていました。このようなセミナーを聴講しそうも言っていないと感じましたし、もっと勉強したいと思い、良いきっかけになりました。

日々のニュースなどで意識の中にあつた現状を改めて突き付けられた感、認めたくないが日本は高成長の一途なのか、マルニチロは企業として生き残る術をどのように探ればよいか、課題は多すぎると考えさせられる。

人口動向は特に興味深く、今後の販売や生産拠点の選定にむけて参考として使える内容が多かった。

世界経済の流れの説明は興味深かった。特にアメリカの金利の上昇や下落でドル売れやドル買いから円安・円高に影響するなど、世界経済へ波及することが知れてよかった。当節もマイクロプロライセンスの価格に影響したり、海外メーカーのソリューションを決定するなどあるので留意していきたいと思う。

**マクロ経済ミニクイズ（1ページ掲載） 答え**

① 80億人 ② ナイジェリア ③ 6~7% ④ 4% ⑤ 約1.2% ⑥ 0\$ ⑦ 2.4位 ⑧ 1社

「ダイバーシティ」では本講座のテキストデータや実施レポートの他、これまでのD&I室の活動報告をご覧いただけます！

ゼンカツオープン講座実施レポート（2023年1月）より